

農林水産省農村振興局長賞

しかおいちょう

北海道 鹿追町 NPO法人北海道ツーリズム協会

程よく管理された農村景観と自然環境の調和で訪れる人に感動を

鹿追町は、北海道の中心、大雪山国立公園の南麓、十勝平野の北西部の丘陵地帯に位置する。ナキウサギや固有種のミヤベイワナが生息する然別湖を水源とする然別川が北から南に縦断し、大規模畑作酪農が基幹産業の人口約5,700人の美しい町である。1988年にグリーン・ツーリズムを進めるために「ファームイン研究会（NPO法人北海道ツーリズム協会の前身）」を設立して、然別湖に向かう沿道6kmにコスモス等を植栽しフラワーロードを作り、環境美化を実践した。その後、部分的な環境美化ではなくて、大雪山の山並みと広大な畑地や草地、防風林、市街地などを一体的に修景し、町全体を美しくして、住む人の誇りと訪れた人への感動をもたらすことを目標に活動を展開してきた。具体的には、農家や一般住民、自然体験ツアーを行う然別湖ネイチャーセンター等、多様な団体や人たちのネットワークを構築し、美しい町づくりの観点から、それぞれが実践できる活動を行い、有機的につなげてきた。

また、景観づくりやグリーン・ツーリズムのノウハウを学ぶ「北海道ツーリズム大学」を開講し、町民含め全道から参加者を募り、地域づくりを学んだ。このような取り組みが町のスローガン「花と芝生の町・しかおい」へとつながり、発展してきた。



防風林と農地の広がる風景



農家が展開するコテージ

（写真 鹿追町観光協会より）